

まちなか工房ワークショップ技術講座 2013 第2回「絵本のストーリー創作」

今回の講座は、絵本のストーリー作りのワークショップ体験であった。既刊の絵本「ちゃいろにわたりのちゃーぼう」の原画をカードにしたもの(26 場面)を用い、これを自由に並び替えて、原作とは異なる独自の物語を創るもの。本講座としては、今回はじめて親子を対象にし、小学校2年生から5年生までの児童5人とその父母、合わせて5組の参加があった。ユニークな話が5つ生まれ、最後に紙芝居風に発表した。子どもの自由な発想には驚かされ、目を細めることが多かった。



研究としては、コミュニケーションや協同学習の手法の実験を兼ねたワークショップであった。原画カードを並べながら絵に触発されてストーリーを考えるのであるが、発想を膨らませアイデアが出やすくなるよう、事前作業にひと工夫した。まず、親子で、主人公の茶色のにわとり3羽の住所、間柄、好きなものなどを自由に書き出し、次いで犬や白いにわとり、車の男性、洗濯物干し中の女性についても、自由に役柄を設定した。こうすることで、親子で対話しながら話を発展させていく際の視座が定まる。例えば、車の男性と洗濯物干し中の女性が夫婦でケンカしているという設定の場合、3羽のにわとりが夫婦を仲直りさせる、というストーリーが思い浮かぶ。

今回は、親子2人組でのみ作業したが、前段の役柄設定作業の後、2～3組の親子で1グループをつくり、グループで話し合いながら1案を創作するようにすれば、発想の相互触発の機会が増えるだろう。また、他人のアイデアを尊重し、取捨選択しながら合意を図る訓練にもなるだろう。中学生同士であれば、十分のそのワークショップができそうだ。対話が不得手と言われる大学生にも、これを試してみたい。

文責：前田（工房研究員 20130713）



親子でつくる オリジナルの絵本

「ちゃいろにわたりのちゃーぼう」の
オリジナルのストーリーを作ろう！

3羽のちゃーぼうを
主人公にした絵本の
文を創作します。
親子で話し合い、
お話を創作し、
自分だけの絵本を
完成させましょう！



2013年

7月13日(土) 13:00~16:00

熊本大学工学部 まちなか工房

熊本市中央区南坪井町 1-5

サンコスメディオビル 2F

主催：熊本大学工学部 まちなか工房

お問い合わせ先

TEL：(096)326-9502

Mail：machi-kobo@cotton.ocn.ne.jp



「ちゃいろにわたりのちゃーぼう」の

オリジナルのストーリーを作ろう！

チームを作り、3羽のちゃーぼうを主人公にした絵本の文を創作します。あらかじめ用意された絵を使って、自由にストーリーを作ります。



手順1：3人チームを作ります。親子の場合は、2組の親子で1チームです。

手順2：チームに1セット、絵のカードを配ります。

手順3：まず、個人で（親子単位で）、絵に描かれた登場者の役付けを考えます。

- ①ちゃーぼう（1）
- ②ちゃーぼう（2）
- ③ちゃーぼう（3）
- ④白いにわとり（眼鏡をかけている）
- ⑤男の人（車を運転している）
- ⑥洗濯物の向こうにいる人
- ⑦犬
- ⑧犬と一緒に歩いている人（絵では足だけ見えている）

これらの人や動物の性別は、年齢は、仕事は、性格は、お互いの関係は？
いろいろ想像して、メモしてください。

手順4：チーム内で、各登場者にどのような役付けをしたのか、情報交換します。

手順5：カード（絵）を並べながら、絵に合うようにストーリーを作っていきます。カードを全部使う必要はありません。同じカードを2度使うことはできません。自由にカードを並べ替え、ストーリーを展開します。

手順6：ストーリーが出来上がったら、絵本の文として、ポストイットカードに書き、絵のカードに貼り付けます。

手順7：最後に、大きな絵のシートを使って、作ったストーリーを読みながら、紙芝居のようにして発表します。